

# 前進

zen shi n

VOL. 22

発行責任者 / 小林 政氏  
発行日 / 2007年 4月 2日

ISO9001:2000 認証取得  
8090210002R05

ANAB

経営コンサルティング  
● 税務  
● 労務  
● 経営

## 小林合同会計

所長税理士 小林政氏 税理士 山野基尚  
税理士 須賀保雄 税理士 内海佑太

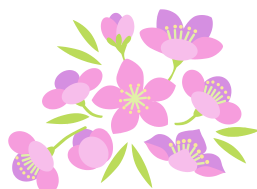
〒332-0032 埼玉県川口市中青木1丁目1番25号  
TEL (048) 253-5668 FAX (048) 253-7602  
<http://www.e-cg.co.jp>

所報タイトル「前進」は所内で掲げる

平成19年度の目標です。

## 平成19年度 入所式

4月2日(月)平成19年度入所式が当事務所会議室において執り行われました。  
本年は 伊藤清子・村中友理・竹川侑里 の女性3名が入所致しました。



今後は所内研修を経て業務に就くこととなります。  
皆様のお目にかかることもあるかと思いますが、どうぞ宜しくお願い致します。

# 所 長 訓 示

4月2日 入所式において  
所長 小林 政 氏



## —感動を体験して下さい—

新入社員の皆さん入社おめでとうございます。

皆さんを迎えて所内に清新な流れを生み、ひいては事務所がより発展するであろうことを望みます。まず社会人一年生として要求させてもらう事柄がいくつかあります。それは、初心を忘れない、社会人としてのマナーを早急に身につける、ならびに新人であってもプロフェッショナルの意識をもって仕事に臨んで欲しいということです。それを実行するためには、事務所のスローガンである「凡事徹底」の不断の実行が肝要であります。具体的には、メモをとる、必要な資料をファイリングする等々であります。またお願いをしたい事柄も二点あります。一つは「もったいない精神」を理解し実践してほしいことです。もう一つであります。感動を体験してほしいことです。それは顧問先に感謝される仕事をするということです。たとえば些細な事でも、他者に親切な行動をとってありがとうといわれ、感謝されると気分が晴れやかになります。仕事においてもその真理は変わりないのです。いい仕事をする、感謝され喜ばれる、生きがいを感じるという好循環が自分自身のなかに必ず生まれます。

最後ですが「真摯に誠実に」という事務所の価値観を共有してもらい事務所の発展に寄与いただくこと、また、やり遂げたあとの感動を体験していただくことを切望いたします。



## 新 入 所 員 御 挨 拶

伊 藤 清 子

四月より当事務所の一員となりました。

入所式を終え、新しい一步を踏み出すと思うと、とても新鮮で身の引き締まる思いです。社会人としての経験は二十数年ありますが、今の気持ちを大切に、諸先輩方に教えて頂きながら、はやく皆様のお役に立てる様、努力していきたいと思ひます。

どうぞ宜しくお願い致します。

社会人となった今の心境はとても複雑です。

大人への第一歩という事で、自分で責任を取らなければならなかったり、これまで続けてきたアルバイトとは当然ですが何から何まで違うので、本当に環境の変化に動揺しています。仕事も覚えが悪くて、事務所の負担になってしまったらどうしよう・・・などパニック状態です。

けれど、仕事を早く覚えて、皆様に受け入れてもらえる様に頑張りたいと思ひます。いつの日か一人前になれる様学んでいきたいと思ひます。

どうぞよろしくお願い致します。

竹 川 侑 里

村 中 友 理

四月から働くことになりました、村中と申します。

高校を卒業したばかりで何も知らないので一つ一つ仕事を覚えていき、一日でも早く会社に慣れて、ミスが無いように仕事をしていきたいと思ひています。

その為は何事も、一生懸命に頑張りますので、どうぞよろしくお願い致します。

## 失敗者になる三十一の原因 その一

**一、不幸な遺伝的欠陥** これは非常に数は少ないが、時には肉体的・精神的な欠陥をもって生まれてくる人もいる。この欠陥を補えるのは、まわりの人々の暖かい協力だけである。だが、自分の力で改善できない問題は三十一の原因の中では「これだけ」であることを忘れてはならない。

**二、人生目標の欠如** 自分の人生の目標をはっきりと打ち立てていない人々に成功の望みは有り得ない。私が研究した人々のうち、百人中九十八人はこれといった「人生の目標」をもっていなかった。おそらくこれが彼らの失敗の最大の原因となっていると考えられる。

**三、向上心の欠如** 向上することに無関心な人間や努力を惜しむ人間は、誰も助けることはできない。本人が気のつきのを待ただけだ。

**四、教育不足** これは比較的簡単に解決できる問題である。歴史をふり返ってみても、最高の教育を身につけた人物とは、そのほとんどが、「独学型」であった。大学を出た人間を教育のある人と呼ぶのは間違っている。教育のある人とは、他人と協力しながら自らの願望を着々と実現してゆける人物である。教育とは単に知識があることを意味するものではない。その知識をいかに活用してゆけるかという点が問題なのである。

**五、自己訓練の不足** 訓練の第一歩は自己管理である。まず自らの消極的な性格を改善しなければならぬ。人を支配する前に自分を支配できる人間になることである。だが、自分を支配することは必ずしも容易なことではない。しかし、もし自分を支配できなければ、自分に征服されてしまうのだ。鏡に自分の姿を映してみると自分が二人いることに気がつくはずだ。我々の中に、積極的な自分と消極的な自分がつも同居しているのである。

**六、病氣** いくら成功しても健康でなければ幸福になれない。だが、病氣の大きな原因に自己管理の欠如があげられているのは注目すべきであろう。たとえば

- ① 暴飲暴食
- ② 否定的な考え方の習慣
- ③ 性生活に関する知識の欠如と過度
- ④ 運動不足
- ⑤ 悪い呼吸法による新鮮な空気の欠如

**七、幼少時代の悪い影響** 「枝が曲がると木も傾く」もので、犯罪的傾向のある人は、その幼少期を悪い環境や、人間関係のもとで過ごしたケースが多い。

**八、一日のばし** これは失敗の原因として一番多く見られるものである。「老人性遅延」はどんな人にも潜んでいるものだが、それがいつも成功のチャンスを潰してしまっているのだ。人生で失敗するのは、「時期」を待ってばかりいるからである。待つ必要はないのだ！ 待っていても「時期」はやってこない。今すぐ立ち上がり、そして、できることから始めるのだ。

続く



## 『週末の楽しみ』

週末の楽しみ

斎藤利文

私は子供の頃から身体を動かすことが大好きで、小学生時代からサッカーを続けています。社会人になった今では練習量はぐっと少なくなりましたが、春から秋まで地域のリーグに参戦しています。私にとってのサッカーの魅力は、力いっぱい闘った後に勝った喜び、負けた悔しさが味わえるところです。事務所に入ってから始めたゴルフも、なかなか上達できない悔しさがあるので、細々ですが続いている気がします。

サッカーやゴルフは自分一人が出掛けることが多いのですが、平日は家族と一緒に過ごす時間が少ないので、週末は子ども達と一緒にスポーツを楽しみたいとも思っています。一年を通してプールで泳いだり、サッカーをしたりと、一人の時とはまた違った楽しみです。

今シーズンからは、一緒にスキーをするようになりました。私は福島県出身なのですが、寒さが大の苦手で、これまでウィンタースポーツはどれも長くは続きませんでした。

今回は雪遊びが大好きな子供達にせがまれて渋々出掛けたのですが、いつの間にか、もつとうまく滑れるようになりたい！と、すっかり魅力にとりつかれてしまいました。意外にも子供は呑み込み、上達が早く、驚かされています。

帰宅すると「お父さんが一番多く転んでいたよ！」などと報告されてしまい、そのうち抜かされる時がやってくるかもとちよっと焦ってしまいますが、勝負好きの私ですので、幼い子供相手に闘志を燃やしています。

こんなふうに過ごす週末が父と子のいいコミュニケーションの時間となっています。下の子どもがもう少し大きくなって、家族揃って滑れるようになる日が来るのもまた楽しみのひとつです。

## 広告募集のご案内

**事務所通信 前 進** に掲載する企業広告を**無料**で募集しています。

この事務所通信は、埼玉県県南及び東京都内を中心に

毎月450社以上の弊所関与先の皆様へ送付しております。随時募集しておりますので、企業PRやお店の宣伝等に、是非お役立てください。

〔お問い合わせ先〕

総務課 TEL：(048) 253-5668

FAX：(048) 253-7608

〔募集方法〕

ワード・エクセル等で作成した広告原稿を、毎月20日までにE-mailに添付して下記アドレスに送信して下さい。

E-mail : hiyaq@e-cg.co.jp

